

日本語教育に向けたアラビア語エジプト方言に おける感謝表現の考察

ハーネム アハマド (カイロ大学^(*))

Hanem Ahmed

**Analysis of thanking expressions in the Arabic language,
Egyptian dialect and Japanese language
-Oriented for the Japanese language education-
(Cairo University)**

Abstract:

The present study investigates the features of thanking expressions in Arabic language, Egyptian dialect compared with their correspondent expressions in the Japanese language. The study is the first study to analyze all the thanking expressions in the Arabic language, Egyptian dialect that has been observed in this research. The study came up with the next findings:

- Egyptian dialect is quite rich and flexible, not only words with Arabic language origin such as “motfakker” and “fukran” have been observed, but also the expression “Merci” that has a French origin, and “Thank you” have been observed as well.
- While “Merci” was mainly used by women from different ages, “Thank you” was used by both male and female with no gender difference, but by young people only.
- Both Japanese language and Arabic language share the same way of thanking using apology expressions such as “sumimasen” in Japanese and “asef” or “maflej” in Arabic. This kind of thanking expression focusses on the load that the other person had to bear for the speaker. This kind of thanking called (plus-minus prospective)

^(*) Bulletin of the Faculty of Arts Volume 81 Issue 6 July 2021

- Selection of the thanking expressions to be used depends on the level of load that has been put on the other person regardless of this person is close or not. This point is in complete contrast with the Japanese language, as the speaker selects the thanking expressions based on the relation type with the other person regardless of the level of the load as it has been introduced in the previous Japanese researches.
- Thanking expressions in Egyptian dialect tend to use several and different types of expressions in the same thanking utterance or in the same sentence with lengthy thanking conversation aiming to express the deep appreciation of the speaker.
- In the present all materials used for teaching the Japanese language in Egypt are developed globally and not oriented for Egyptian learners. This research will serve the goal of developing Japanese language education materials that are oriented for the Japanese language learners of Egyptians.

1. はじめに

あらゆる言語には感謝を表す表現は存在するが、その表現の種類や使用する場面等は、それぞれの国の社会や文化により大きく異なる。また、話者がどのような基準に基づいて、感謝表現を選出するのか、個々人の判断に委ねられるため、話者や各言語、各文化等によって選出する表現は異なる。

感謝表現にはただ単に感謝の気持ちを伝えるだけでなく、これらの感謝表現の適切な使用には相手との人間関係を維持する役割もある。本稿では、これまで取り上げられることが少なかったアラビア語における感謝表現の特徴や、日本語の感謝表現との違いや、実際にどのような表現があり、またどのように使用されているのか、特にエジプト方言と日本語の感謝表現に着目して考察する。

本稿で得られた結果を活用し、日本語とアラビア語エジプト方言のそれぞれの共通点及び相違点を明らかにし、最終的にアラビア語エジプト方言を母語とする日本語学習者の母語における感謝表現と

その特徴を詳しく分析した結果を活かし、アラビア語エジプト方言を対象とした日本語教材作成に励みたい。

2. 先行研究にみる感謝表現の用法と本研究の意義

2.1 アラビア語と日本語における感謝表現の先行研究

これまで、日本語における感謝表現や、他言語と日本語を取り上げた対照研究、日本語学習者の感謝表現における誤用や運用方法を取り上げた先行研究は多く見られる。それに対し、アラビア語における感謝表現と日本語の感謝表現を比較対照した先行研究は少ない。

日本語とアラビア語を比較対照した研究として、谷口・榮谷(2011)が挙げられる。谷口・榮谷(2011)では、アラビア語における感謝表現とその語用論的機能を取り上げ、特に「motfakker」「fukran」の語用機能を比較分析した。また、谷口・ハーネム(2016)も挙げられ、日本語とアラビア語における謝罪表現を使用した感謝表現及びその使い分けについて取り上げている。

日本語とアラビア語比較対照した先行研究が少ないだけでなく、アラビア語エジプト方言における感謝表現で使用される特徴的な見解や、後述詳しく説明する佐久間(1983)が主張する自己志向的感謝表現と他人志向的感謝表現の区別がアラビア語エジプト方言にも存在するのか、あるいは日本語のみに存在するのか、これらを分析した先行研究の例はない。

またこれまでの先行研究では、どのような感謝表現が使用されているのか取り上げられているものの、それぞれの種類における特徴や、多数ある感謝表現のそれぞれの違いについて分析した研究がないのが現状である。

アラビア語における感謝表現や運用方法を取り上げた先行研究として El-Sayed (1990) のアラビア語におけるポライトネスの分析研究が挙げられる。El-Sayed (1990) が着目したのは、アラビア語エジプト方言において、感謝表現の使用は、感謝そのものを表すというより人間関係の維持と社会関係を築くために使用されるものと、人間関係に焦点を当てていることである。

次に述べるのは、Rehab (2010) である。Rehab (2010) は、アメリカ在住のエジプト人の日常会話を記録し、Jung(1994), Rubin(1983), Ide(1998), Kotani(2002)に倣い、感謝表現の機能を4つのカテゴリーに分けている。①利益を受けた際の感謝、②会話の開始と終了、③相手の注目を引き付けるため、④相手と別れる際の挨拶の4つのカテゴリーに基づき分析を行っている。

Rehab (2010) では、エジプト方言における感謝場面について、同じ場面であっても、話者は異なった様々な感謝表現を使用し、感謝の談話を非常に長くする傾向があると報告している。同じ場面に様々な感謝表現が使用され、感謝の談話の長さで相手に深く感謝していることを伝えようとすることを指摘している。

同研究では、話者は相手より利益を得た場合と別れる際に、謝罪表現による感謝表現を使用する場面が見られ、研究データの32%は謝罪表現を用いた感謝表現であったことを報告している。また、Kotani (2002) が指摘した日本語における感謝表現で使用される「すみません」という表現がエジプト方言においても同じく、謝罪表現を使用した感謝表現が存在することはRehab (2010) においても報告されている。

谷口・ハーネム (2016) の研究においても同じ結果が得られた。同研究では、謝罪を使用した感謝表現をプラスマイナス見解によるものであると説明している。日本語及びアラビア語エジプト方言のどちらにおいても、プラスとマイナスの見解が存在しており、話者にとってプラスの行為は、相手側にとってはマイナスとなったため、それを謝罪して感謝する見解が両言語に共通して存在することを報告している。

ほかに感謝表現を取り上げた先行研究として、金田一 (1987)、森山 (1999) があげられ、これらの研究は、感謝もお詫びも人間関係修復のためであり、使い分けについて文化的な側面から考えた。山梨 (1986) は、感謝表現の使い分けには、主体が話し手なのか、あるいは聞き手なのかということと、話し手がどのような心的態度を抱いているかにより決まると主張している。

中田（1989）は日本語と英語のそれぞれの感謝表現の特徴の違いについて、英語では、陳謝は自分の行為、感謝は相手の行為に対する行為であると明確に分かれているのに対し、日本語は、相手が行った行為は自分にとってプラスであるが、相手にとってマイナスであるという見解をしている。

三宅（1994a）では、日本人のお詫び表現の使い方には相手の負担の量や話し手の利益の大小などの要因以上に相手との人間関係の種類が大きく影響していると指摘している。

以上の通り、日本語における感謝表現の研究はアラビア語エジプト方言における感謝表現の研究と比べて様々な研究成果が存在し、異なった角度より感謝というテーマを取り上げられていると言える。それに対し、アラビア語エジプト方言における感謝をテーマにした研究はまだ少なく、取り上げられた領域もまだ限定的であると思われる。

佐久間（1983）は、日本語における感謝表現選択の際、「ありがとうございます」と「すみません」と大きく感謝表現を2つに分けた。それぞれの使い分けの理由について、「ありがとうございます」は自己の喜び表現「自己志向的であるのに対し、「すみません」は他人の気持ちを中心にした感謝表現であるため、「他人志向的」であると述べている。

本研究の目的は3つある。まず、1つ目は本研究では今まで取り上げられたことのないアラビア語感謝表現におけるそれぞれの感謝表現の特徴や使用傾向を取り上げる。2つ目は、佐久間（1983）に倣い、アラビア語エジプト方言における感謝表現を自己志向的と他人志向的な感謝表現の2種類に分け、分析する。谷口・ハーネム（2016）ではアラビア語においても他人の視点から述べる感謝表現が存在しており、日本語と共通していることが分かったが、詳しい分析がなく、使用にあたっての人間関係による制約があるかなどの分析がない。3つ目は、エジプト方言における感謝談話そのものの特徴の分析をする。上記の3つの目的をもって本研究を進める。

3. 調査方法とデータ収集

本稿では、アラビア語エジプト方言の日常会話に近づけるよう数多くのエジプトの現代ドラマ及び映画の談話を分析し、100 個の発話のデータを収集した。ドラマ及び映画を選択する際、時代設定は現時代のみのもに限定した。アラビア語コーパスがまだ存在しない中、ドラマや映画が最も日常会話に近いと思われる。

ドラマや映画を選ぶ際は、エジプト人に人気のあるドラマや映画を選択することに心がけ、主流な役者が出ているドラマ、脚本家も人気のある脚本家であることを第一の基準として設定し、そこから外れないような選択を心掛けた。また、脚本家の偏りを避けるため、数多くのドラマや映画を取り上げるよう心掛けた。本稿で取り上げたドラマは、同じ脚本家によって書かれたドラマは一つもない¹。ドラマと映画は下記の通りである。

表1 ドラマ及び映画の情報

ドラマ・映画名	日本語訳	種類	制作年	脚本家
haða elmasaʔ	今晚	連続ドラマ	2017	Mohamed Farid
Sabeʕ gaar	7 件目の近所	連続ドラマ	2017	Heba Yosry
Naseebyweʔesmetek (Part1)	僕の運命と貴女の運命	単独ドラマ	2016	Amr Yaseen
elmot ,allaqa:t	バツイチの女性たち	連続ドラマ	2015	Ahmed Sobhy
Ferʔet Nagy ʕatalla	Nagy Atalla 団	連続ドラマ	2012	Youssif Maaty
Nas ,eeby we ʔesmetek (Part2)	僕の運命と貴女の運命	単独ドラマ	2018	Amr Yaseen
ʕla gossety	私の死体の上にて	映画	2013	Tamer Ibrahim
maʕa sabq elʔisrar	故意犯	連続ドラマ	2012	Ayman Salama

¹ (Naseeby we ʔesmetek (Part1)(part 2)は同じドラマであるため、脚本家も同人物である。

² このドラマは part1 と part2 から成っており、3～4 話ごとにストーリーも役者も変わる。各 3～4 ごと全く異なるドラマのようになる。

el hob Keda	恋はこんなものだ	映画	2007	Tarek El-Ameer
essellem we tteṣban	階段と蛇	映画	2002	Tarek El-eryaan
ʔuri:du ragulan	男募集	連続ドラマ	2015	Shaheera Sallam

4. 調査の結果分析

4.1 アラビア語エジプト方言における感謝表現の数と種類

表2: 本研究のデータで収集した感謝表現と出現回数

No.	表現	日本語直訳	数
1	/motʃakker(a) (een 複数形)	ありがとう (ございます)	22
2	fukran	ありがとう (ございます)	26
3	merci	ありがとう (フランス語の外来語)	22
4	Kattar x e:ra (e ³)k, rabbena y xalli:k(i), teslam(i)	あなたの豊さが増えますように 長生きしますように あなたが病気をしませんように	17
5	謝罪表現+使役 Asef, , taʃabtak maʃaya, maʃleʃ, taʃabtak maʃaya. Asef, maʃleʃ, taʃabtak maʃaya, dawaʃta (e)k maʃaya, ʃat, alta (e)k	謝罪表現+使役 すみません、(私と一緒に) 疲れさせて。 ごめんなさい、(私と一緒に) 疲れさせて。 すみません、ごめんなさい。私と一緒に疲れさせて。 私と一緒にお騒がせさせました。 私と一緒に時間を浪費させました。	9

ʔ(e)(i)(a)は性別記号であり、女性名詞を表す。

	maʕaya 謝罪表現のみ asfa ʕal meʕwaar sorry 使役形のみ ʕallebtek mʕaya ya ħabiba	謝罪表現のみ 遠いところまですみません。 sorry 使役形のみ 苦労させちゃったね、ハビーバちゃん。	
6	elhamdolellah その他	神に感謝	5
7	meʕ ʕarfa aʕkorak e/ meʕ ʕarfa aʔollek e	なんてお礼を言えばよいか分からない。 なんて言えば良いか分からない	5
8	ħabibi, roh albi 等	あなたは私の大切な人(ダーリン)	5
9	Thank you	Thank you	3

本研究のデータを元に分析したところ、表 2 に見られるように、感謝表現として、「motʕakker(a)」と「ʕukran」が一番多く見られ、合計 58 回出現している。

「motʕakker(a)」 「ʕukran」 が現れた談話例を分析したところ、両方とも性別や年齢を問わず幅広く使われていることが分かった。次に一番多く使われていたのはフランス語由来の「merci」であり、22 回の使用数が見られた。

上記の感謝表現の「ʕukran」 「motʕakker(a)」の言語由来はアラビア語であるのに対し「merci」はフランス語、「thank you」の由来は英語であり、それぞれ由来は異なっている。感謝表現だけでは 3 つの異なった言語が由来となっていることは、アラビア語エジプト方言の表現がそれだけ豊かであると言えるだろう。

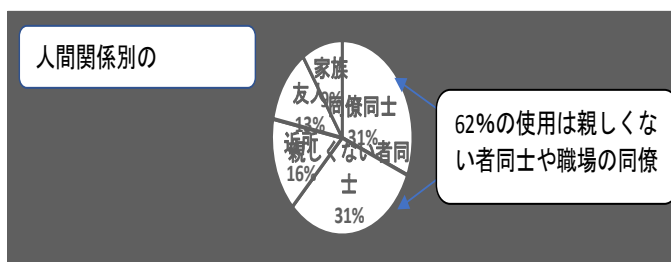
4.2 感謝表現の運用と傾向

4.2.1 「motʕakker(a)」と「ʕukran」の使用傾向

本稿のデータで最も使用された感謝表現は「motfakker(a)」と「fukran」である。以下は、それぞれの使用傾向について分析する。

前述の通り、談話例を分析した結果、「fukran」「motfakker(a)」は両方とも男女問わず幅広い年齢層において使用されていることが分かった。しかし、本稿の談話例を分析した結果、「motfakker(a)」は大きく3つの場合に分けて使用されることが分かった。グラフ1は人間関係からみた「motfakker(a)」の使用傾向を表したものである。

グラフ1：人間関係別に分析した「motfakker(a)」の使用傾向



「motfakker(a)」はグラフ1の通り、32回中20回は同僚や親しくない者同士で使用されていることが分かった。親しい関係より、むしろ同僚や親しくない者同士での使用の方が多かった。友人同士の使用は4回、近所同士の5回、家族同士での使用は3回とそれぞれの使用回数は少なかった。

次に、「motfakker(a)」が実際にどのような使われ方をしているのか、その使用傾向について、以下の談話例①～③を通じて、解説していく。

談話例① 関係があまり親しくない者同士の表現

親しくない人間関係同士の会話。女性は男性に打ち合わせを求めている（電話にて）。

男性：mafi ennaharda law yenasbek baʿd 6? bas fein?

じゃ、今日夕方6時、そちらの都合が良ければ！でも場所は？

女性：naṣyēt eḥḥaref elḥomu:mi elli waṣṣalteny ḥanduh, walla bḥeed ḥannak?

この間降ろしてくれた大通りの角のところで。それとも遠い？

男性：lala mef beḥeed. setta bezzabṭ hakoon henak inḥallah.

いいえ、遠くない。ちょうど6時に行く。

女性：Ok, motḥakker. maḥa essalama

OK 。 motḥakker 。 さ よ う な ら 。
「ḥaḍa elmasa?」より

上記の談話例①では「motḥakker」が使われている。この例は「motḥakker」は親しくない人間関係同士の場面で使用され、親しくない男性に突然の打ち合わせを依頼した女性は相手から承諾を受け、「motḥakker」と感謝を表明している。他に、昇格した上司からお祝にお金⁴をもらった部下の掃除係は、上司に「motḥakker」と感謝をする場面なども見られ、親しくない相手や職場の同僚や部下から上司へ、上司から部下などへの使用が一番多く見られた。

談話例② 恋人同士の会話で用いられる表現 彼女の誕生日を忘れた男性との会話。女性は男性に怒っている。

⁴ エジプトにそういう習慣がある。自分の身に良いことが起きた際、自分より目下の人間にお金やプレゼントをあげることが多い。

男性 : otloby elly enty řayzaah wana anzel ageebholek
halan

欲しい物を何でも言って。僕はそれをすぐに買いに行くから。

女性 : la vaseedy motřakkerā, ana mabaetř řayza mennak
haga ř aleř

結構よ。motřakkerā、あなたからはもう何もほしくない。

「h
ađa elmasa?」より

上記のように、恋人同士の会話で、恋人に自分の誕生日を忘れられたという不快な思いを味わされた女性は、わざと「motřakkerā」を使用し、相手に距離を感じさせようとしている。他に本稿で見られた場面では、自分の娘に電話をした母親が、娘からとても冷たくされたため、娘に対し「motřakkerā」と言って、電話を切る場面も見られた。この例から、本来親しいはずの相手に、あなたにはそんなことをされると思っていなかった。自分が思っていた程親しい存在ではなかったという意味で、相手に怒りや失望したことを伝えようとする際に、「motřakkerā」を皮肉兼ねて使用する傾向が見られた。

しかし、家族や友人に対して使われる場合は、必ずしも談話例②のように、相手に対して距離間を伝えようとしているとは限らず、以下の談話例③のように、実際は本当に深く感謝しているという使用例もある。

談話例③兄妹の会話

兄が妹にたくさんのところへ付き合わせて、迷惑をかけた。

兄 : motřakker ya hanya řala kol haga

ハニアちゃん、いろいろと motřakker
「Naseebyweřesmetek」より

この例は、談話例②と対照的であると言える。すなわち、ここでは談話例②のように、相手に対して怒り失望を抱いている

ため、あなたは近い存在ではないと伝えたく「motfakker」を使用しているのではなく、全く逆の意図を持って、近い相手に負担をかけたため、それを素直に深い感謝を伝えようとし、motfakkerを使用している。

談話例③では、兄は妹に色々な所へ付き合わせたり、振り回したりして、最後に「色々「motfakker」と妹に感謝をしている。ここでも「motfakker」が用いられている。家族の一員であるにもかかわらず、改まった場面で使われる事が多い「motfakker」を使用していることは、「motfakker」の本来の意味である「fukran」という強調の意味が表れていると思われる。言語学的に言うと、「motfakker」はもともと強調能動分詞であり、名詞の「fukran」より深く感謝をしているという意味がある。親しい相手であっても、負担度の大きい行動をしてもらったことに対して特別に深い感謝を伝えたい場合に、使用することが分かった。

上記の通り、談話例①②での「motfakker」の使用背景及びニュアンスには、相手との関係がそれほど親しくない背景や、談話例②のように、わざと距離感を伝えようとする、少し嫌みが入った表現になることもある。それに対し、談話例③での使用背景はまったく異なっている。「motfakker」のそれぞれの使用には話者の異なった意図があり、それを把握するのにコンテキストの助けが必要である。次に、「fukran」について以下の談話例④⑤から分析する。

談話例④ 住人の女性は朝食の購入を管理人に依頼する

女性：ewʕa ya sameh tegeeb elʕeeʕ elnaʕef elli mabeyttakelf da

あの硬くて食べられないパンは買ってこないでよ。

管理人：hader

了解

女性：fukran

fukran

「Sabeŋ gaar」より

談話例⑤ 亡くなった父親に代わって家族の面倒を見る兄に、弟が学費を払ってほしいと依頼する場面

弟 : ahmad ana ŋaref en dah meŋ waʔtuh...bas mehtag maŋareef elgamŋa ŋaŋan

lazem adfaŋha bokra

お兄さん、こんな時にあれなんだけど、大学の学費が必要なんだ。明日払わなければいけないんだ。

兄 : mafi mateʔlaʔŋ bokra eŋobh ha tlaʔihom ŋalkomodino

大丈夫だよ。心配しないで。明日の朝までにあなたのサイドテーブルの上に置いとく。

弟 : fukran ya : ahmad

(fukran、お兄さん。) 「essellem we tteŋban」より

前述の通り、「fukran」は親疎関係や性別と関係なく幅広く使用されていることが分かった。例えば、談話例④では、住人と管理人という関係であるが、談話例⑤では兄弟同士の会話である。兄に大学の学費を払うことを了承してもらった弟は「fukran」と一言で兄への感謝を伝えている。本稿では、他に婚約した女性が上司から祝福の言葉をもらい、「fukran」と回答した場面も見られ、相手への負担度と関係なく「fukran」は使用され、一番言いやすい感謝表現であると思われる。

上記では、本稿において一番使用頻度が多かった「motŋakker」と「fukran」について述べたが、両表現はそれぞれ異なるニュアンスを持つケースもあるが、双方とも基本的に同じ語根を持つ動詞から派生していることから、お互いに言い換えられても違和感はないと思われる。

談話例⑤では、学費を払ってもらったという負担度の大きい行動を兄にしてもらった弟は「motfakker」ではなく「fukran」と感謝をしている。ここでは、「motfakker」に置き換えられることも可能であり、これら2つの感謝表現はお互いに置き換えられることは可能であると思われる。

谷口・榮谷（2011）の研究では、アラビア語エジプト方言では、「motfakker」+「fukran」の順番で表れ、その反対は見られず、このことから「fukran」は会話の終了に使われると報告している。しかし、本稿では、谷口・榮谷（2011）の指摘と異なる順番が見られ、「fukran」+「motfakker」の順番が見られた。近所の女性同士の会話では、アパートに入れてもらったお礼に「fukra, motfakker awy」と「motfakker」を「fukran」の後に使い、「motfakker」をもって会話を終了している。このことから、「motfakker」は会話終了の機能もあることがわかった。

4.2.2 外国語由来の「merci」と「Thank you」の使用傾向について

次に「merci」と「Thank you」による感謝について述べる。

談話例⑥ パーティー終了後、女性は車で家まで送ってくれた友人の男性に感謝を伝える。

女性：Merci ya haadi （ありがとう。ハーディー君！）
「 maʕa
sabq elʔisrar」より

前述の通り、「merci」による感謝は22回とアラビア語由来の「fukran」の使用回数とそれほど差がない。しかし、「merci」が使用された談話例を分析した結果、男性による「merci」の使用は5回のみだったのに対し、女性の使用は17回であり、女性の方が積極的に「merci」を使用する傾向があることが分かった。

「merci」の使用には性別が影響していると言える。また、年齢層について分析した結果、「merci」は若い女性や高齢の女性のどちらにも使用され、年齢を問わず、比較的学歴が高く社会的地位の高い女性に積極的に使用されることがわかった。

談話例⑦上司が首になり、部下の男性が上司に代わってマネージャーになった。

上司 : ana ʃaref en malakʃ daɣl we kan hayeʃsal
delwaʔty aw baʃdeen. Ana asasan kont tʃebt we
ʃayez asterayah bas lelʔasaf magatʃ menni..good
luck mabrook.

あなたのせいじゃないことは分かっているよ。こういう状況は早かれ遅かれ起きることは承知していた。僕自身疲れてたし、もうそろそろ辞めようかなと思っていたんだ。残念なのは、自分の意志でこういう状況にならなかったことだ。グッドラック。おめでとう！

部下 : Thank you
「haða elmasaʔ」より

英語由来の「thank you」による感謝も見られたが、回数が3回のみであり、三つの場面とも若い話者だった。出現数は「merci」と比べ使用回数は少なく、「merci」は幅広い年齢層の女性によって使用されていたのに対し、「thank you」の使用は全て若者で、また、男女どちらとももの使用も見られた。現在、エジプト方言における感謝表現ではまだフランス文化の影響が比較的英文化より強いが、若者は「thank you」を積極的に使用し始めていることから、将来英文化がフランス文化に代わってエジプト社会に浸透していくことが考えられる。

4.3 アラビア語エジプト方言における自己志向的と他人志向的感謝表現について

4.3.1 自己志向的感謝表現について

ここでは、アラビア語エジプト方言の感謝表現を佐久間（1983）に倣い、自己志向的と他人志向的の観点より分析する。上記で取り上げた談話例に焦点を当てながら、まず見てきた感謝表現について言及する。談話例⑥の通り、女性は男性に車で送ってもらったとい

う相手への負担があった行為に対する感謝で「merci」と言い、感謝を伝えている。談話例⑦では、上司がリストラになって、自分がその上司に代わってマネージャーになった部下は上司からのおめでとうと言われ、それに対し、「Thank you」とあっさり上司からの祝福の言葉を受止めている。

上記では、「fukran」「motfakker(a)」「merci」「thank you」などが使用された場面を分析した結果、お世辞を言われたり、褒められたりという言葉で感謝を伝えるために使用された場面もあれば、相手から車で送ってもらったり、学費を払ってもらったりという、実際に何らかの行動をしてもらったり、具体的な恩恵を受けた場面での使用が見られた。

前述の通り、「fukran」「motfakker(a)」「merci」「thank you」などは非常に幅広い場面で使用されており、恩恵の度合いや相手への負担の違いにかかわらず使用されることが可能であることが分かった。上記の感謝表現で最も多く使用された「motfakker(a)」と「fukran」は上下関係や性別と関係なく使用されることが可能であり、感謝場面において非常に範囲が広く使われていることがわかった。

「fukran」「motfakker(a)」「thank you」「merci」はそれぞれ比較すると、親疎関係やジェンダーや年齢層などによる差があるかもしれないが、これらの感謝表現は全て直接的な感謝表現であり、恩恵受益者である話者は、自分の気持ちを表明している点は共通している。つまり、これらの感謝表現は、佐久間（1983）が主張する「自己志向的」感謝表現である。前述の通り、日本語における感謝表現を取り上げた佐久間（1983）は、感謝表現選択の際、「ありがとうございます」と「すみません」と大きく感謝表現を2つに分けた。それぞれの使い分けの理由について、「ありがとうございます」は自己の喜び表現「自己志向的であるのに対し、「すみません」は他人の気持ちを中心にした感謝表現であるため、「他人志向的」であると述べている。

本稿では、佐久間（1983）の主張する自己志向的感謝表現と、他人志向的感謝表現の両方が確認できた。日本語の概念でいえば、佐久間（1983）の「ありがとうございます」と「すみません」と同じ概念がみられ、「fukran」「motfakker(a)」「merci」「thank you」は日本語の「ありがとうございます」に相当し、話者の気持ちを表す「自己志向」であるのに対し、表 2 の 5 で紹介した「Asef, , taʕabtak maʕaya」「すみません、一緒に疲れさせて」、等は「使役+謝罪」という相手側の気持ちを表す「他人志向的」感謝である。

表 2 の通り、使用された場面数をみると、「fukran」「motfakker(a)」「thank you」「merci」等の自己志向的感謝表現の使用回数は 83 回、相手を中心として考えた他人志向的感謝表現の出現回数は 31 回であると、自己志向的感謝表現の方が、使用場面数が多く、アラビア語エジプト方言では、自己志向的感謝表現の方が積極的に使用される傾向があると言える。

先行研究では、「ありがとうございます」と「すみません」のそれぞれの感謝表現選出にはどのような背景があるかについて取り上げている。金田一(1987)、森山(1999)もその使い分けについて、感謝もお詫びも人間関係修復のためであると言及し、文化的な側面から使い分けについて考えている。山梨(1986)も感謝表現を取り上げ、感謝表現の使い分けには主体は話し手であるのか聞き手であるのかということと、話し手がどのような心的態度を抱いているかによって決まると主張している。

本稿では、それぞれの感謝表現の選択にはどのような要因があるかを明らかにするため、上記で分析した「fukran」等の「自己志向的」感謝表現が使用された場面への分析に加え、「maʕleʃ, taʕabtak maʕaya」「ごめんなさい、一緒に疲れさせた」のような「他人志向」感謝表現が使用された場面も分析する。これを通じ、話者はどのような基準に基づき、自己志向的感謝表現と他人志向感謝表現を使い分けているのか明らかにしたい。

4.3.2 他人志向的感謝表現について

まず、自己志向的感謝表現は、上記の通り相手への負担度と関係なく幅広く多く使用されることが分かった。ここでは、「他人志向的」感謝表現について取り上げ、話者はどのような基準に基づき、自己志向的感謝表現と他人志向的感謝表現の使い分けを決定するのかを分析した。ここでいう他人志向的感謝表現は、佐久間（1983）の定義の通り、相手の気持ちの視点から考えた感謝表現である。他人志向的感謝表現として挙げられるのは「Asef, , taʕabta(e)k maʕaya」、「maʕlef, taʕabta(e)k maʕaya」等であり、これらの表現の意味は「すみません」等による感謝表現や「謝罪+使役」「謝罪」に相当する表現である。また、「使役+感謝」や「使役」のみによる感謝表現も見られた。以下の談話例⑧は他人志向的感謝表現が使用された例である。

談話例⑧初対面の人の家に宿泊し、別れる際の場面

友人の紹介で初対面の相手の家に泊めてもらうことになり、別れる時の場面。

話者の男性：maʕlef ya ostaz saʕd ʕamlnalak dawfa

ご迷惑をおかけして、ごめんなさい。「Ferʔet Nagy ʕatalla」より

上記の通り、談話例⑧では、話者は相手の家に泊めてもらったが、相手との人間関係はそれほど親しくないという場面設定になっている。負担度も大きいし、人間関係も相手との距離も離れていることがわかる。上記の談話例では、感謝場面において「maʕlef」と謝罪表現が使用されている。

他に、初対面の男性に、幾つもの場所へ車で送ってもらうことになった女性は、相手の男性に「maʕlef taʕbtak mʕaya」「あなたに苦勞させて、ごめんなさい」と「謝罪+使役」による感謝使用を用いていた。それ以外にも、エジプト方言でよく聞く他人志向的感謝表現の例として、超時間にわたり悩みを聞いてもらった相手に「maʕlef ʔaraftek maʕaya」「私と一緒に嫌な気分させて、ごめんなさい」等の例が挙げられる。

本稿で見られた謝罪による感謝表現が使用された全ての場面では、恩恵内容を分析してみると、話者は相手から車で送ってもらったり、家で泊めてもらったという、相手に体力的な負担や金銭的な負担をかけたり、あるいは悩みを聞いてもらうという精神的に負担をかけたりする場面だったことが分かった。

また、人間関係については家族以外の相手への使用が多かったが、家族への使用も少ないが見られた。その例として、長期間にわたり看病に励んでくれた娘に対し、母親は「*ƙallebtek mƙaya ya habiba*」「苦労させちゃったね、ハビーバ（娘の名前）」と感謝をしている場面も見られ、親しい相手の場合でも相手への負担度が大きい場合、親疎関係を問わず、「使役」による感謝表現が使用される傾向があることが分かった。このことから、アラビア語エジプト方言において、話者の感謝表現の選出には、人間関係ではなく、行動内容や相手への負担と話者自身の認識の方が影響していると考えられる。

三宅（1994a）の研究では、日本人のお詫び表現の使い方には相手への負担の量や話し手の利益の大小などの要因以上に相手との人間関係の種類が大きく影響していると指摘しているのに対し、ハーネム（2018）では、エジプト方言における依頼表現の選択には、人間関係よりも相手への負担度の方が影響していると報告されている。

ハーネム（2018）は、依頼表現の選択や依頼の前に来る先行発話の長さには、人間関係よりも相手への負担度が影響していることを報告しており、相手が妻や母親という親しい関係であっても、負担度が大きい依頼の場合、先行発話を長くし、相手に依頼の背景を詳しく説明する傾向があることを報告している。依頼表現や感謝表現の選択にも、相手への負担や依頼や受けた恩恵の内容の方が人間関係よりも強く影響している点が日本語と対照的な相違であることを報告している。

本稿においても、相手を中心にした「他人志向的」感謝表現の場面を分析すると、上記の通り、自己志向的感謝表現にするのか、他人志向的感謝表現にするのか、相手との人間関係よりも、感謝をす

る相手への負担度と、話者自身がこの負担度の認識が影響していることが分かった。また、感謝表現を選択する際、行動内容は人間関係より大きく影響しており、親しい相手でも行動の負担の大きい内容の場合、他人志向的感謝表現が使用されるケースがあることが分かった。

4.3.3 アラビア語エジプト方言における他人志向的感謝表現の「プラスマイナス」見解

本稿でみられた他人志向的感謝表現は大きく二つに分かれる。まず一つ目は、上記で取り上げた日本語にもある「使役形+謝罪」または「謝罪+使役」と同じ構造を持つ表現である。その例として、本稿のデータに現れた「私と一緒に疲れさせてすみません = Asef, maʕleʃ, taʕabta(e)k maʕaya,」「私と共にお騒がせしました。 = 「dawaʕta(e)k maʕaya」のような「謝罪+使役形」による感謝表現である。これらの謝罪を通じた感謝表現は、谷口・ハーネム (2016) においても取り上げており、アラビア語と日本語の両言語において、利益を受けた側が謝罪表現を通じて感謝を表明する傾向は、日本語と共通していることが報告されている。

前述の通り、本稿においても同じように「謝罪+使役形」による感謝表現が見られた。謝罪による感謝表現については中田 (1989) も取り上げており、日本語では、相手が行った感謝に値する行為は自分 (話者) にとってプラスであるが、相手にとってマイナスとなったため、この見解は (^{プラスマイナス} + -) 見解であると呼び、日本語は (+ -) 見解を持っているため、謝罪表現を使用した感謝表現がみられると説明している。

アラビア語エジプト方言においても、日本語同様上記の談話例⑧の通り、家に泊めてもらったことへの感謝として、相手に「ご迷惑をおかけしてすみません」と自分が家に泊まったことは自分にとってプラスだったが、相手にとってマイナスになった。また、本稿のデータで見られた別の感謝場面では、知らない男性に車で幾つかの場所に送ってもらった女性も、「疲れさ

れてごめんなさい」と、自分が行きたい場所に行けたということは自分にとってプラスであるが、相手がそのために時間や労力を使ったことは相手にとってマイナスだったことを認識し、謝罪表現を使って感謝を表明している。

アラビア語エジプト方言も日本語も、「*fukran*」と「ありがとう（ございます）」のような「自己志向的」と「使役+謝罪」のように他人志向的という両概念が存在しているだけではなく、「他人志向的」表現における謝罪表現を使用した感謝場面も日本語同様存在しており、私のプラスはあなたのマイナスという志向が働いていることも共通していると言える。

特に「謝罪+使役」が使用された談話例は、実際に相手への物理的な負担がかかったことより、話者は、自分への恩恵が相手の負担になったことを認識していることが分かり、山梨（1986）が主張する、話し手がどのような心的態度を抱いているかにより決まるということと、同じことが言える。

これまでの分析から判明した通り、アラビア語エジプト方言と日本語の感謝表現には共通点があることが分かった。

本稿ではほかに相手を中心とした感謝表現も見られ、これらの感謝表現の例として、「*Kattar x e:ra(e)k*, =あなたの豊さが増えますように」という相手に良いことを願う表現や、「*rabbena y x alli:k(i)* =長生きしますように」「*teslam(i)*=病気になりませんように」という感謝表現が挙げられるが、紙幅の関係で本研究の分析対象から外す。

4. 4 アラビア語エジプト方言の感謝談話の長さについて

本稿における感謝場面を分析した結果、ほとんどの談話例では、話者は「*fukran*」「*motfakker(a)*」「*merci*」という表現を、一つの同じ発話において、何度も繰り返して言っていることが分かった。同じ発話でこれらの感謝表現を続けて言う場面の多さが目立った。下記の談話例⑨はその例の一つである。

談話例⑨女性同士の会話。

インターネットに接続できないため、近所の女性にインターネット接続共有を依頼する面。

近所女性1 : maʃlef momken tohotoholy? ʔasl elbaaqa btaʃty x elset we me
motʃakker a ʔawy, maʃlef batʃebek.

すみませんが、パスワードを入れてもらえる？通信データ全部使い切っちゃ
て、それで出かけられないの。とても motʃakker a、ごめんなさいね、面

近所の女性2 : mafif moʃkela fu:fy keda.

大丈夫。これでいける、確認して。

近所の女性1 : Aaah, eʃtaʒal. motʃakker a motʃakker a, rabbena y x all i:k, maʃ

オー、繋がった！ありがとう、ありがとう、長生きしますように。ごめんなさい

「Sabeʃ gaar」より

上記の談話例⑨の通り、感謝する側の女性は、依頼の段階で一度相手に「motʃakker a awi, maʃlef batʃebek」 「ありがとうございます。ごめんなさい、面倒をかけて」と依頼を受け入れてもらう前の段階で、自己志向的の「motʃakker a」と他人志向的の「maʃlef batʃebek」 「ごめんなさい、面倒をかけて」と二つの感謝表現を使用している。更に、実際相手からインターネットを貸してもらって、「motʃakker a motʃakker a rabbena y x all i:k, maʃlef ʃukran」 「ありがとうございます。ありがとうございます。あなたは長生きしますように。ごめんなさい。ありがとう」と、様々な感謝表現が一つの発話で続けて使用されている。上記の文章を分析すると以下の通りになる。

「motʃakker a motʃakker a rabbena y x all i:k, maʃlef
 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
 自己志向的 自己志向的 他人志向的・++見解 他人志向的+-見解 自己志

それぞれの使用されている感謝表現を分析すると、本稿で解説してきたほぼすべての感謝表現及び自己、他人という視点の両方と、+

＋見解及び＋－見解という二つの見解が、たった一つの発話に揃っていることが分かる。

上記の談話例⑨と同様、本稿において一つの発話に複数の感謝表現及び様々な視点と異なった見解が存在している例は他に複数見られ、一つの発話に複数の感謝表現が使用される傾向があることが分かった。感謝の場面では、話者は感謝表現を繰り返し述べたり、長くしたりする傾向が見られ、エジプト方言では、相手に深く感謝をしていることを伝えるため、感謝の発話を長くし、様々な感謝表現を使用する傾向があることが分かった。この結果は Rehab (2010) と同じ結果である。

エジプト方言の謝罪表現を研究した谷口・ハーネム (2016) では、エジプト方言の謝罪には「説明 + 謝罪」のように、これら二つが一緒になって使われることが多く見られ、「言い訳」に聞こえることを指摘している。しかし、エジプト方言の依頼表現とストラテジーを研究したハーネム (2018) は、エジプト方言では他者に依頼する場合でも、依頼に関する説明が多く行われることから、「謝罪」談話のみではなく、「依頼」談話においても、相手との関係を維持するため、相手に長く説明しようとする傾向があることを報告している。また、本研究においても、感謝の談話では話者は感謝談話を長くし、感謝表現を繰り返したりすることを通じ相手に感謝を伝えようとする傾向が見られ、感謝は謝罪と依頼同様、相手との関係を強調することを目的で長くする傾向があることが分かった。

5. おわりに

本稿では、アラビア語エジプト方言のドラマで使用される表現の中から、感謝表現を取り上げた分析を行った。そこから導きだされた結果を踏まえて考えられることを以下に述べる。

まず、ドラマで使用されたエジプト方言の感謝表現では、日本語における感謝表現と共通する点が2つあることが分かった。一つは、両言語における感謝表現は、自己志向的感謝表現と他人志向的感謝表現が存在していること、もう一つは両言語で「謝罪+使役」表現に

より感謝表現が使用される傾向がみられ、両言語においてプラスマイナスという見解が働いていることである。これは Rehab (2010) と谷口・ハーネム (2016) が行った研究を通じて出た結果と同じであることが確認された。

また、アラビア語エジプト方言では、話者は感謝表現を選出する際、自己志向的感謝表現にするのか、他人志向的感謝表現にするのか、相手との人間関係よりも、相手への負担度と話者自身の負担度に対する認識が影響していることが分かった。

他には、アラビア語エジプト方言における自己的感謝表現のそれぞれのニュアンスの違いや、親疎関係の違いなども確認できたので、これらの結果を、早期の段階でアラビア語エジプト方言話者の日本語学習者の教育に取り入れ、日本語との関係、共通点、相違点などを結び付け、感謝表現を導入する際に活用することが考えられる。

今後については、本研究で得られた結果を日本語教育に導入し、アラビア語を母語とする日本語学習者、特にエジプト人学習者を対象とした日本語教材を作成することが考えられる。真島 (2006) の指摘の通り、語用論による誤用は学習者の日本語能力の問題として見られないことが多く、学習者自身の人格の問題として見られることがある。この意味では、言語的な問題だけではなく、学習者の文化の違いによる誤用を視野に入れた教材の作成が必要である。目標言語である日本語と異なる点だけではなく、共通点に焦点を当てた教材が必要であると思われる。アラビア語を母語とする日本語学習者の日本語学習の助けとなるよう、本研究で得られた成果を日本語教育に取り入れていきたい。

主要参考文献

El-Sayed, Ali M. (1990). Politeness formulas in English and Arabic: A contrastive study. *Review of Applied Linguistics*, 19, 1–23

Ide, Risako (1998). 'Sorry for your kindness': Japanese Interactional Ritual in Public Discourse. *Journal of Pragmatics*, 29, 509-529.

Jung, W.H. (1994). Speech acts of “Thank you” and responses to it in American English. Paper presented at the 16th Annual meeting of the American Association for Applied Linguistics. Baltimore, MD.

金田一秀穂 (1987) 「お礼とお詫びの言葉」 『言語』第 16 卷 4 月号
大修館

Kotani, Mariko. (2002). Expressing gratitude and indebtedness: Japanese speakers' use of “I'm sorry” in English. *Research on Language and social interaction*, 35 (1), 39- 72 conversation.

佐久間勝彦 (1983) 「感謝と詫び」講座日本語の表現 3 一話し言葉の表現 . 東京：筑摩書房 , pp. 54-66

サルマ モハメド (2018) 「語用論の観点から日本語とアラビア語における配慮表現—謝罪表現を中心に—」 修士論文

中田智子 (1989) 「発話行為としての詫びと感謝」 『日本語教育』(日本語教育学会) 68 号 , pp191-203

谷口・榮谷 (2011) 「アラビア語のエジプト方言における詫びおよび感謝表現の語用論的機能」 『横浜国立大学留学生センター教育研究論集』シンポジウム「エジプトにおける日本研究—過去、現在、未来」開催記念号』 第 19 号、横浜国立大学

谷口龍子・ハーネム アハマド (2016) 「アラビア語エジプト方言における詫び表現の機能とストラテジー」 『日本語学習

者の母語・地域性をふまえた日本語教育研究』2号 東京外国語大学国際日本研究センター PP. 89-98

ハーネム アハマド (2018) 「アラビア語エジプト方言における
依頼談話のパターンとポライトネスに
関する一考察」『日本語・日本学研
究』東京外国語大学国際日本研究セン
ターno. 8 p. 141 -154

真嶋潤子 (2006) 「日本語教育から見た異文化理解」『異文化コミ
ュニケーションを学ぶ人のために』

三宅和子 (1994a) 「「詫び」以外で使われる詫び表現—その多様化
の実態とウチ・ソト・ヨソの関係—」『日本語
教育』(日本語教育学会) 82号, pp134-146

森山卓郎 (1999) 「お礼とお詫び—関係修復のシステムとして」
『國文学解釈と教材の研究』学灯社 44巻6号、
pp. 78-82

山梨正明 (1986) 『新英文法選書 12 発話行為』大修館書店

Rehab Morsi, dr. Elizabeth Riddle (2010) 「Speech Act of Thanking in
Egyptian Arabic」 A research paper for the degree Master
of Arts Tesol by Ball State University Muncie,
Indiana, 2010

Ryuuko Tniguchi (2015) 「Contrastive studies as methodology: An
example with the pragmatics of apology and thanks」 JSN
Journal Japanese Studies Association Thailand, 2015

Y.Samarah Abdullah.(2010).Views of Apology in linguistics: Examples of
Arabic culture. Journal of Language and Literature.No.3.
pp.57-73.

https://kias.asafas.kyoto-u.ac.jp/1st_period/contents/pdf/kb2_2/09kosugi.pdf
<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/ar/pmod2/3/1.html>